

災害等情報(詳報)

鉱種:石灰石	鉱山の所在地:岡山県					
災害等の種類:坑外	発生日時:	罹災者数	死	重	軽	計
運搬装置のため(コンベアのため)	平成31年1月23日(水) 15時00分頃		—	1	—	1
罹災者(年齢、職種、直轄・請負の別、勤続年数、うち担当職経験年数) 32歳、焼成係員、直轄、勤続年数:1年5ヶ月、担当職経験年数:1年5ヶ月						
罹災程度:左前腕両骨骨折(休業日数:57日)						
<p>【概要】</p> <p>作業員A(罹災者)は、運転中のベルトコンベアの蛇行を発見し、モンキースパナを使用して同コンベアテール部のアジャスタを調整していたところ、リターン側(下側)のベルトに2~3mm程度の小石が少量載っているのを発見したため、左手(長皮手袋着用)でそれを取り除こうとした際、誤って左腕をテールローラに巻き込まれ罹災した。</p> <p>ベルトが罹災者の反対側に偏り、コンベアフレームとベルトの間にできた隙間より上腕部が自然解放されたため、罹災者は携帯電話で上司に連絡した。その後、罹災者は救急車で市内の病院に搬送された。</p>						
<p>【原因】</p> <ol style="list-style-type: none"> 蛇行調整の作業を早く終わらせようとして、ベルトコンベアの運転を休止せずにテールローラとベルトに手を出した。 テールローラ周囲(回転している部分)に防護カバーがなく、手が入るスペース(開口部:横230mmX縦200mm)があった。 蛇行調整に関しては、ローラ等回転部には手を出さない等のコンベア作業に関する手順書が整備、制定されていなかった。 						
<p>【対策】</p> <ol style="list-style-type: none"> コンベアの回転体に手が入る隙間が生じないよう防護柵、カバーを取り付ける。なお、工事完成までは、「回転物にふれるな」の警標を掲げる。また、防護柵・カバー等を取り外した時に作動する非常停止用スイッチを取り付ける。 蛇行調整を停止して行えない場合は、「運転しながら」の安全に調整を行う作業手順を制定し、現場作業員全員に周知を行う。 保安教育の一環として、危険体感研修の受講を検討する。 						

【参考情報等】

- ベルトコンベアテール部などの回転部付近でベルト調整作業などを行う場合は、ベルトコンベアを停止するか、巻き込まれ防止措置を講じましょう。
- ベルトコンベア等の機械の調整の作業を行う場合は、作業手順を定め、労働者に適切な安全教育を行ってください。

鉱山保安法令及び関係法令における参考規定は以下のとおりです。

< 鉱山保安法令 >

機械、器具及び工作物の使用(鉱山保安法施行規則第12条)

鉱山労働者が守るべき事項(鉱山保安法施行規則第27条)

共通の技術基準(鉱業上使用する工作物等の技術基準を定める省令第3条第1項)

< 労働安全衛生法令 >

安全装置等の有効保持(労働安全衛生規則第28条)

清掃等の場合の運転停止等(労働安全衛生規則第107条第1項)

【お問い合わせ先】

中国四国産業保安監督部 鉱山保安課 二木、坂井

電話番号:082-224-5755

ポータブルコンベア:テール部



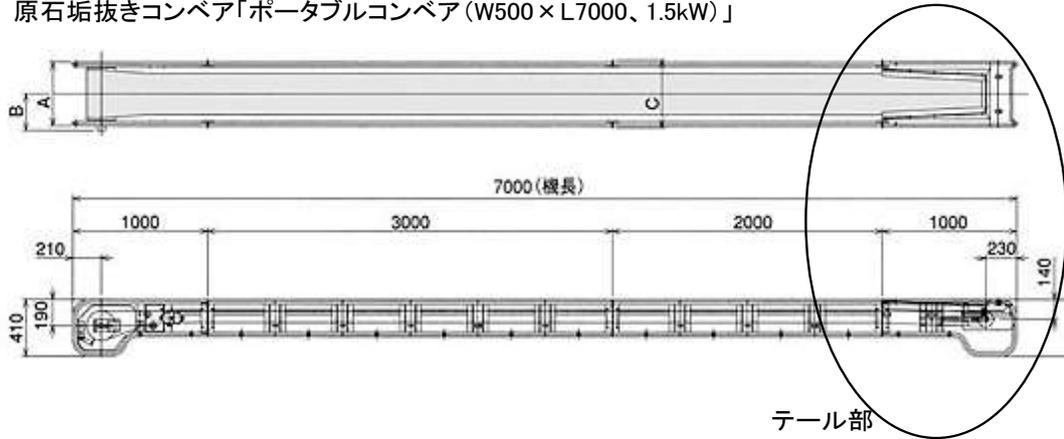
再現写真



概況図

概況図

原石垢抜きコンベア「ポータブルコンベア (W500 × L7000、1.5kW)」



テール部の拡大図

